

2022 3/8

No.2158

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



JR東日本は2月18日、水素を燃料とする燃料電池と蓄電池で走る電車「HYBARI（ひばり）」を公開した。南武線などで走行試験を行う予定。



contents

視点点描	3
仕事人総理への求心力	
講演録	4
政権運営の1年と今後 前内閣総理大臣 菅 義偉	
政治双眼鏡	9
蜜月関係から倦怠期に？ 問われる自公連立の意義	
デモクラシーの現場から	10
通常国会のペース握る岸田政権	
国際	12
北京五輪に隠れた内憂外患 習近平政権の外交活動	
企業最前線	16
コロナ下、冷凍食品需要が急増 市場拡大で増産、専門スーパーも	
かながわTODAY	18

事務局だより

◇2022年3月のオンライン講演会

＝ユーチューブによるライブ配信で実施

3月14日(月)午後0時30分～1時30分配信

講師：ジャパンラグビーリーグワン理事長 玉塚 元一 氏

演題：「ジャパンラグビーリーグワンが目指すもの～ラグビーと企業経営の共通点」

(新型コロナの感染拡大を考慮し、オンラインでの開催となります)

◇2022年4月定例講演会

4月25日(月)午後1時30分～3時

ロイヤルホールヨコハマ5階「リビエラ」

講師：元横浜高校野球部寮母・管理栄養士 渡邊 元美 氏

演題：「家族で目指した甲子園～渡邊家の娘に産まれて」

※定例講演会は、新型コロナの感染拡大の状況によって中止または延期する場合があります。

【お知らせ】 神奈川県政経懇話会ではホームページと会報「政経かながわ」に会員コーナーを設け、新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな会員情報を掲載しています。掲載の問い合わせなどは事務局 ☎045(226) 2121。

視点 点描



仕事人総理への求心力

「何で声をかけてくれなかったんですか」。今回の会報にある前総理・菅義偉さんの講演後、ほうから連絡があった。都内の大手企業の元社長さんからは「退任から間もないのによく引き受けてもらいましたね」と感心された。

首長や大臣など公共性の高い講演者の場合、一般から参加者を募ることは多い。しかし今はコロナ

禍。感染症対策のため来場者をしぼらざるを得なかった。約290人定員の会場も収容半数で設営。会員へのお声掛けであつと言う間に埋まった。そんな事情ですからご勘弁を。

考えてみれば総理在職中はもとより官房長官時代も横浜へ戻ることはほとんどなかった菅さん。危機管理を重視し未明の地震でも宿

舎から官邸へ真つ先に駆け付ける。国会議員の間では「背広を着て寝ている」と評された。講演後の名刺交換で「10年ぶりだね」と言葉交わしていた企業経営者は「本当に大変だったし、ゆっくりしてもらいたい」と話した。しかし「ゆっくり」とはしてられない気配だ。

仕事面の忙しさは講演で語っているの、ぜひご一読を。ここではちまたでにぎやかな政局面について補足しておきたい。

菅さんの政治家としてライフワークは「縦割り打破」。長年の官邸務めを全うできたのも常に省庁間に横串を通すことを意識してきたからだ。いわゆる「グループ結成」に言及するのも政策課題解決のため横串を通すための手段で、総理総裁をとる目的の派閥とは一線を画す。とてもピユアなのだ。

しかしピユアな上に門戸を開いてはいろんな思惑の人たちも寄っ

てくる。麻生太郎自民党副総裁の派閥「志公会」を巡る離脱の動きなどは典型だ。先の総裁選を踏まえ「負け組連合」などと評する向きもあるが事は単純ではない。

コロナと戦いながら自己アピールの次で仕事をし平時以上の実績を挙げ、自ら身を引いて争点を潰し与党を勝利に導いた。それもたった1年の間の話だ。こんな総理は過去にいない。菅さん本人が意識しない求心力が生じ始めているゆえんだ。

「やっぱり横浜はいいよね」とは菅さんの感想。「ゆっくり」とはできそうもないが、官邸時代と違い多少の自由はある。電車ガード下の老舗そば店のつけ天やアーケード商店街の豆大福などでハマのパワーを補給して、「縦割り打破」に備えるに違いない。

(神奈川新聞特別編集委員
有吉 敏)